



## 全ての人々に平等に与えられているもの

本日7日(木)は、ムラサキ朝会でした。私の方からは次のような話を子供たちにしました。全ての人に平等に与えられているものは何でしょう？

それは、時間です。これは、全ての人にとって平等です。当たり前ですが、「時間」には限りがありますし、「時間」は戻す事ができません。つまり、今を過ごしている1秒1秒が「二度と取り戻す事ができない時間」となっています。1秒前の出来事がたった一瞬で「過去」になるのです。だから人間は、限られた時間の中を一生懸命生きていくのです。また、「自分自身の人生の時間」をつかって働いて、その対価としてのお金を得て生活をするようになります。そのお金で、必要なものを買ったり、自分の趣味などに必要なものを買ったりします。

それでは、時間を大切にする方法にはどんなことが考えられるでしょうか？

- ①自分の能力を向上させ時間を節約する: 同じ時間の中で、できることを増やす。
- ②1日に不必要な時間がないか見直す: 1日の中で、不必要な事を減らす

小学生の皆さんは、これから大人になるために、勉強や人とのかかわり方を学んでいます。「それが何のためになるのか」と思う人もいます。例えば算数では計算の仕方などを学びます。計算ができればできるほど、一時間あたりにできる仕事の量が増えてくるのです。そういう意味でも今の勉強をがんばって欲しいと思います。

一方で、一日の中で無駄な時間もあるはずで、意味もなくテレビを見たり、ゲームをしたり過ごしていないか、生活を見つめ直してみましょう。

また、とても大切な時間であるからこそ、人の時間を奪う行為は最もいけません。例えば、次のようなことは、絶対してはなりません。

- ①誰かの物を奪う行為: 相手の人生の時間をつかって買った物を奪うことになります。
- ②相手を傷つける行為: 体や心を傷つけられた人は、その傷が治るまで、その人の大切な時間が奪われることになります。
- ③周りの人に心配をかける行為: 誰かを心配させるということは、その人の心配している時間を奪うことになります。
- ④決められた時間を守らない行為: 時間を守れないということは、相手の待たせることになり、相手の時間を奪うことになります。特に集団で生活している学校や会社などでは、そこにいるすべての人の時間を奪うことになるのです。

そして、最も素晴らしい時間のつかいかたを紹介します。それは人の役立つことをするという事です。誰かの役に立つということは、誰かがつかうはずだった時間を、その人のために自分が代わりにつかうことになるからです。皆さんに例えると・・・

①人に役立つことをする: 誰かがつかうはずだった時間をあなたがつかうことで、その人は、他のことをできるようになります。家の手伝い、掃除、委員会活動、係、当番、ボランティアなど、自分で探すと、身の周りにたくさんあることに気付くはずで、

②人の心を前向きにする: 人に優しく接したり、人を楽しい気持ちにさせたりすることで、その人のやる気につながり、その人の時間が充実したり能力を上げることになります。

今月の生活目標は、「チャイム着席をし、時間を守ろう」です。「時間を守る」ことは、大人になってからもずっと大切なルールと言えます。時間を守ることはまずは「帯西レッド」の心が必要となってきます。しかし、時間を守り続けると、「帯西グリーン」の心や「帯西イエロー」の心を育てるようになってきます。今日の話聞いて皆さんは、どの心を感じたでしょうか。これからも平等に与えられている時間を上手につかえる自分になって欲しいと思います。

※青字は、スライドを提示せず言いそびれてしまった部分です。お家で話題にしてください。

